



しゅうちゅう う ぶ 集中 ぐう雨が降るのは、どんな雲なの

せきらんうん おお 積乱雲が多い

しゅうちゅう う ぶ
集中 ぐう雨とは、せまい地域に短い時間に、たくさんの雨が降ることをいいます。
しゅうちゅう う ぶ
集中 ぐう雨が降るときは、南の海上からたくさんの、水蒸気をふくんだ雲がやってきます。

しゅうちゅう う ぶ せきらんうん ぐも にゅうどうぐも ぐも
集中 ぐう雨を降らせる雲は、ふつう、積乱雲(かみなり雲、入道雲)と、よばれる雲です。たいふうのときの雲も、積乱雲でできています。

せきらんうん なか じょうしょう くうき あめ こおり ま かこう くうき はげ
積乱雲の中では、上昇する空気と、雨つぶや氷のつぶが混じった下降する空気が、激しい勢いで入り乱れています。また、水蒸気が、雨つぶや氷のつぶになるときは、熱を放出します。この熱が、空気をおし上げるはたらきをしています。このようにして、積乱雲は、だんだん発達して大きくなっていき、激しい集中 ぐう雨を降らせます。

「つゆ」の終わりごろに、しゅうちゅう う おお 集中 ぐう雨が多い

「つゆ」の終わりごろ、ばいうぜんせん ちい ていきあつ たいふう ばいうぜんせん ちか
梅雨前線に小さな低気圧ができたり、台風が梅雨前線に近づいたりすると、みなみ しめ くうき なが
南から湿った空気が流れこみます。そのために、おおあめ しゅうちゅう う ぶ
大雨や集中 ぐう雨が降ることがあります。

このようなあめ ぶ じょうくう すいじょうき ひる かた しめ くうき なが
雨降るとき、上空の水蒸気の広がり方のような、みなみ かいじょう む した かたち しつぜつ
南の海上から、日本に向かってのびた、舌のような形になることがあります。これを、湿舌といいます。(監修・村山 貢司)

